



令和7年 7月 30日

岩倉市議会議長

須藤智子 様

日比野 走

研修受講報告書

このことについて、下記のとおり受講しましたので報告いたします。

記

1 実施日 令和7年 5月19日(月)～5月 20日(火)

2 研修先 市町村議会議員研修

3 復命事項

別紙のとおり

自治体決算の意義と審査のポイント

金崎健太郎 武庫川女子大学教授

予算は修正という形で議会の意を示すことができるものの、決算は認定のみ。しかし、決算内容から議論すべきものはたくさんある。

- ・民間企業との会計方式の違い

係数整理に重きを置いた議会もあるが、成果の方に目を向けた方がよいのでは。

決算関係書類

地方公共団体では歳入歳出決算書、それらの事項別明細書、各種調書を利用する。貸借対照表を作っている自治体はあるもの、それを予算決算でどのように活用されていくべきかの議論があるため、利用の拡大はあまり進む様子も見られない

決算を用いた財政診断

普通会計→バーチャルに設置され、一般会計や特別会計を比較しやすくなるように。

財務 4 表 貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書

「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」

小西敦 JIAM 客員

教授

重要業績評価指標(KPI)

- ・各政策分野のもとに盛り込む具体的な施策についてはそれぞれに対し客観的な重要業績評価指標を設定する必要がある。原則として当該施策のアウトカムに関する指標を設定するものであるが、できない場合はアウトプットに関する指標も設定が可能。
- ・これまでの 10 年の反省を踏まえたものでなければならない。政策の遂行において適切な定量的 KPI を設定し、定期的な進捗の検証と改善策を講ずる。

第 2 世代交付金

地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた創生総合戦略に定められた事業を記載した地域再生計画及び第 2 世代交付金実施計画の実施に必要な事業に要する経費に充てるために

国が発行する交付金。

EBPM(Evidence Based Policy Making)

- ・成長型の新たな経済ステージへの移行
- ・豊かさと幸せを実感できる持続可能な経済社会へ
- ・財政についても効果的かつ効率的な支出を徹底しつつ官民連携で投資促進を図りつつ、財政の信認を確保することは民需主導の経済成長を支える重要な基盤に。

演習

福岡県那珂川市	田中夏代子議員	福岡県福津市	中村晶代議員
滋賀県湖南市	小林義典議員	埼玉県伊奈町	仲島雄大議員
神奈川県厚木市	奈良直史議員	静岡県菊川市	織部光男議員
富山県南砺市	齋藤藤幸江議員	愛知県岩倉市	日比野走

藤枝市議会の評価制度をめぐる議論

全議員が藤枝市のものをベースとすべきとなったものの、いくつの事業を評価されるものなのか。また、他の班の発表でも、議員や行政の見える化等を重要視して藤枝市のものが良いとする意見が多く見られたが、首長のマニフェストに係るものや、住民の関心のある政策が決算対象に選ばれない懸念があるとして、藤枝型を認められないという意見も挙がった。

その他

- ・決算審査後に全員協議会を開き、そこで決算審査をもとに全議員の同意を得て作成した提言書を当局に届ける。(福岡県那珂川市)
- ・成果報告の横に課題を書いてもらう。(同上)
- ・主要政策説明の欄にそれぞれ【事前】【事後】欄に課題や反省などを記載している。(福岡県福津市)
- ・4つの常任委員会に振り分けられ、1週間程かけて決算審査を行う。(神奈川県厚木市)

所感

議案審査1つとっても、自治体毎に大きく異なる方式をとっていたことに改めて驚いた。主要政策説明を【事前】【事後】の欄で説明する福津市や、今回演習の例に出された藤枝市の決算審査用調書をなど、各事業の進捗状況や今後の事業計画や課題の洗い出しなども記載されていたものを見受けられたので、本市の決算書にもより詳細な記述がなされるよう、アプローチしていきたい。福岡県那珂川市の決算審査後に議員側から提言書の作成など岩倉市議会でも取り入れていきたいような活動も見受けられた。